



# 評価システムの導入と特徴

本取組では、「薫風・満天フィールド交流塾」自体の評価と、学生自身が育てた感性・能力についての2つから構成される評価システムを導入します。(図3)

第1は「薫風・満天フィールド交流塾」への評価で、3つの評価体制を整備します。その1つ目は『塾生活動報告会』における自己及び相互評価です。活動内容や成果について報告するとともに、塾生が自己評価と相互評価を行います。次いで2つ目は塾長及び支援教員等で構成される『塾生支援チーム評価委員会』における学生の取組状況評価です。また、ここでは定期的に取組の進捗状況をモニタリング評価する機能をもたせます。最後の3つ目は地域住民・自治体・諸事業体により構成される『交流塾外部評価委員会』による総合評価です。ここでは目標到達度、課題克服対応のあり方、地域に与えた影響について評価します。この結果は次年度の取組に反映することになります。

第2は本取組の目標である学生の行動力・創造力・社会性の向上等の評価です。この評価は塾長、副塾長、アドミッションチーム、教務・学生委員会、就職支援チーム、カウンセラーから構成される『人間力向上評価委員会』で本取組の効果を定量的に評価するのがねらいです。

以上の評価システムは、大学における「人間力の発達」を支援する目的を達成するための客観的システムであり、最終的には4年度目のシンポジウムでその評価を総括することとしています。本GP補助期間終了後も、本取組及び評価システムは学生支援の重要な柱として継続させる計画です。

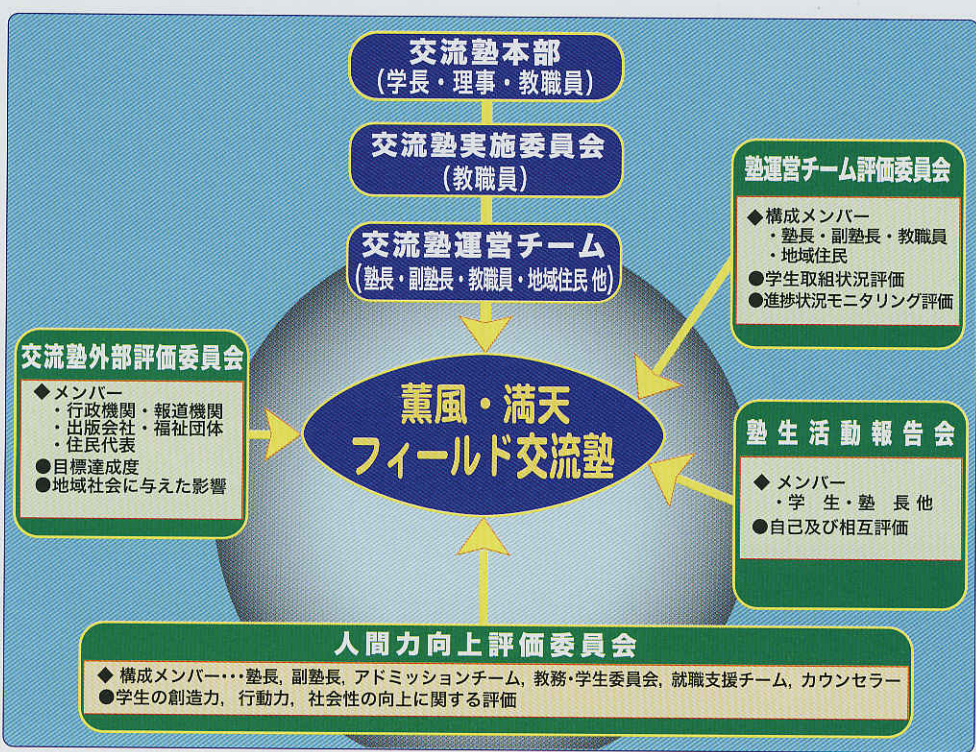


図3. 本取組の運営評価体制



## 初年度の活動紹介 >>>

### ● 第1回企画「ハタハタ満喫体験」

最初の第1弾企画には、秋田の食文化を知る体験として「ハタハタ」を取り上げ、男鹿市の北浦漁港を訪れた。ハタハタ漁に関心を寄せていた学生は、水揚げされたハタハタを見ながら説明に耳を傾け、水揚げ場や選別作業などを見学しました。また、ブリコ（卵）を頬張りながら漁師と交流する光景は印象的でした。参加学生は、秋田の特産である「ハタハタ」がどのように水揚げや出荷されているのかなど、見学と地元の漁師との交流をとおして知識を深めることができました。

見学後は、本学のフィールド教育研究センターにて学生がハタハタ料理の「しょっつる（魚醤）鍋」づくりに挑戦し、試食体験しました。女子学生は、ハタハタの調理指導を受けながら鍋づくりに励み、男子学生は昔ながらの薪割りとお釜での炊飯に挑戦しました。学生手づくりの「しょっつる鍋」と御飯を最後に試食して終了しました。



### ● 第2回企画「ハタハタ鮎の製造体験」

ここでは第1回企画に引き続きハタハタの加工を体験しました。今回は、男鹿市北浦の武田水産株式会社の協力を得て、ハタハタ鮎（飯ずし）製造を体験しました。不慣れな手さばきでしたが、工場職員からの指導を受けて鮎製造を楽しみながら学びました。学生が製造したハタハタ鮎は第4回企画まで熟成させました。



### ● 第3回企画「アイスクャンドルをつくってみよう」

かまくらとひと味ちがう、幻想的な輝きをみせるアイスクャンドルをつくり、若い学生の感性やアイデアを引き出す、自然と触れあう企画を実施しました。あいにく、降雪がなく、冬景色のなかでの灯火は実現しなかったものの、参加したは2日間で約300個の鮮やかな彩りのアイスクャンドルを制作しました。



● 第4回企画 「たんぼをつくってみよう」・「ハタハタ鮨の試食体験」

秋田県を代表する郷土料理のひとつ「たんぼ」と「きりたんぼ鍋」づくりを体験しました。秋田県北部の大館市で体験交流型の直売所「陽気な母さんの店」を営む「陽気な母さんの店友の会」の方3名の指導を受けながら、御飯をすり鉢で潰し、秋田杉の串に巻いて炭火で焼き、「たんぼ」をつくり、みそたんぼときりたんぼ鍋にして試食しました。また、前回のハタハタ鮨が食べ頃を迎えたので、これも合わせて試食をおこないました。本格的な作り方を学んだ学生たちには、みそたんぼ、きりたんぼ鍋、ハタハタ鮨のいずれも大変好評でした。



● 第5回企画 「比内地鶏の薫製と豚肉のベーコンをつくってみよう」

食品添加物を使わずに、昔ながらの製法による燻製づくりを2日にわたって行いました。素材は比内地鶏と豚のバラ肉で、初日は比内地鶏をと殺・解体し、肉を塩漬けにして1晩血抜きをしました。2日目は比内地鶏と豚肉を塩・砂糖・香辛料・香味野菜に漬け込む作業を行いました。これは一定期間漬け込んだ後、流水で塩抜きし、2月中旬に開催される「薫風・満天フィールド交流塾 雪まつり」の際に燻して試食する予定です。



■ お問い合わせ先

〒010-0444 秋田県南秋田郡大湊村南2-2  
 公立大学法人 秋田県立大学 大湊キャンパス  
 「薫風・満天フィールド交流塾」  
 学生支援 GP 事務局  
 代表：アグリビジネス学科准教授 露崎 浩  
 Tel: 0185-45-2026 (代表)  
 Fax: 0185-45-2377  
 e-mail: kunpu@akita-pu.ac.jp  
 URL: <http://www.akita-pu.ac.jp/kunpu-manten/>

*Kumpu-Manten*



PDFファイル B 「薫風・満天フィールド交流塾」の活動状況

「薫風・満天フィールド交流塾」の活動状況

(学生支援GP地域別意見交換会「東北地区」資料)

秋田県立大学

平成20年2月18日作成